

令和7年度第3回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和7年6月11日 13時00分～13時50分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学IRセンター長、
亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、
高嶋学生支援本部長、猪股企画・広報本部長、高橋高等教育推進センター長、
工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、橋本ソフトウェア情報学部長、Tee 総合政
策学部長、川崎盛岡短期大学部長、伊藤国際文化学科長、田中宮古短期大学部長、
永富委員（学外委員：東北大学産学連携機構特任教授）、宮本委員（学外委員：岩
手大学人文社会学部教授）

[オブザーバー]

米内事務局次長兼総務室長、中川教育支援室長、西野学生支援課長、
佐藤研究・地域連携室長、千葉企画・広報室長

[事務局]

森主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回国議5月14日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

(1) 令和6年度の業務実績の評価について

亀田大学評価委員長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

(1) 三陸オープンフィールドキャンパスツアーの開催について

田中宮古短期大学部長から資料に基づき説明があった。加えて、東京都立高校
やいわて留学の生徒等県内外の高校生に向けて、8月の宮古キャンパスオープン
キャンパスに合わせて三陸地域を実地体験できる企画としたこと、本ツアーをパ
イロット版として実施する旨の補足説明があった。

(2) 令和7年度全学FD・SD プログラム第1回高等教育セミナー開催要項について

高橋高等教育推進センター長から、資料に基づき説明があった。

委員から、今年度のセミナーは7月実施であるが部局によっては知らない教員もいるので、可能な限り多くの教員が出席できるよう、各学部長にも参加にあたっての配慮と周知をお願いしたい旨の意見があった。委員から、録画視聴の有無に関する質問があり、企画をしている旨の回答があった。

(3) 令和7年度「プライド月間」での啓発活動について

高嶋学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

(4) 令和7年度グループ・プログラムの実施について

高嶋学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、例年の参加者数について質問があった。これに対し、昨年度は実施回数が少なく参加者もあまり多くなかったこと、今年度1回目の実施では10名超の参加者がおり盛況であった旨の説明があった。

(5) 公立大学協会主催の勉強会の開催等について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、本学の科研費採択率は38%程度であるがこれを60%程度まで上げたいと考えていること、学部単位でもこのような取組をお願いしたい旨の意見があった。また科研費獲得については、「国から研究資金を借り受け、利子として研究成果をつけて返す」という姿勢で取り組んでほしい旨の意見があった。

(6) 令和7年度研究・地域連携本部研究成果発表会の開催について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があり、ポスターセッションに参加する教員の確保のため、学部内に積極的に声をかけてほしい旨の説明があった。

(7) 全学研究支援費交付要領別表等（論文投稿料支援）の一部改正について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(8) 令和7年度公開講座（滝沢キャンパス・宮古キャンパス）の開催について

(9) 令和7年度公開講座（県北・県南地区講座）の開催について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

昨年度との違いとして、従来キャンパス内で実施していた公開講座に加えて、大学まで来ることができない方を対象として、県北・県南地区でも試行的に公開講座を開催すること、多数の参加者を募るため受講料を無料とする旨の補足説明があった。

学長から、公開講座は高校生の父兄の方にも参加してほしい旨の意見があった。

(10) 令和7年度専門分野別外部評価の実施について

猪股企画・広報本部長から、資料に基づき説明があり、昨年度未実施のソフトウェア情報学部には今年度は確実な実施をお願いしたいこと、また、実施報告書は機関別認証評価等にも用いられる資料となるため、部局の役職者複数名で確認してほしい旨の説明があった。

学長から、年度評価に関する地独法改正後、本学では内部的に地域の有識者が

ら評価を受ける方針としたので、よろしく頼む旨の意見があった。

(11) 令和6年度卒業年次生アンケートの結果について

猪股企画・広報本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、肯定的な回答だけでなく否定的な回答が多い項目やそれらの経年変化を分析する必要があるのではないかとの意見があった。これに対し、現時点では、否定的な回答の詳細な分析は行っていないことの回答があった。加えて、学内ネットワーク通信環境が例として挙げられ、全学のノートパソコン必携化後、ネットワーク環境に関する否定的な回答の割合が高いが、これを踏まえて通信環境を改善する整備事業を優先的に実施している旨の説明があった。また、教育関連でも、ぜひアンケート結果を活用してほしい旨の連絡があった。

学長から、アンケート結果を有効に活用してほしいこと、今後は、裏付けとなる客観的なデータや年次別の学生評価の変化等を公表しなければならない時代がやってくるので、学生に対する対応を充実していくようお願いする旨の意見があった。

報告事項（資料報告）

(1) 令和7年度副専攻「地域創造教育プログラム」第7期生及び「国際教養教育プログラム」第3期生、文理融合データサイエンス教育プログラム「応用基礎レベル」第1期生修了証授与式について

(2) 令和6年度FD・SDの実績について

(3) 「いわて高等教育コンソーシアム」令和7年度学内体制等について

(4) 令和7年度第1回学務調整会議の開催概要について

(5) 令和8年度サバティカル研修者の推薦依頼について

(6) 令和7年度前期「English Time」の開催について

(7) 令和7年度ライブラリー・アテンダントの決定について

(8) 令和7年度宮古短期大学部ライブラリー・アテンダントの決定について

(9) 令和7年度キャンパス・アテンダントの決定について

(10) 令和7年度七夕祭の開催について

高嶋学生支援本部長から、資料に基づき口頭でも説明があった。

(11) 令和7年度北いわて地域活性化推進研究の採択課題の決定について

(12) 令和6年度研究倫理審査委員会の審査結果及び令和7年度の審査スケジュール(予定)について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき口頭でも説明があり、5月から審査が始まっているが書類の不足等が多くみられるので、学部長から学部内へ声掛けをお願いしたい旨の説明があった。

(13) 令和7年度Rubyプログラミング教室の開催について

(14) 令和7年度高度技術者養成講習会の開催について

(15) 令和7年度数理・データサイエンス・AI塾の開催について

以上